

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび「ワールド・ソブリンインカム（愛称 十二単衣）」は、2019年3月25日に第204期の決算を迎えましたので、過去6ヵ月間（第199期～第204期）の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2002年3月26日から、原則として無期限です。	
運用方針	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）を通じて、日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 原則として、外貨建資産の為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎月25日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等には、マザーファンドの利子・配当収入等のうち、投資信託財産に帰属すべき利子・配当収入等を含むものとします。 （ファンドの分配対象収益の範囲には、売買益（評価益を含みます。）を含みません。） 分配対象額の範囲内で、1万口当たり1円単位で安定的な分配を行うことを基本とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案し、決定します。 分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

運用報告書（全体版）

ワールド・ソブリンインカム

愛称 十二単衣

追加型投信／内外／債券



第199期（決算日 2018年10月25日） 第202期（決算日 2019年1月25日）
第200期（決算日 2018年11月26日） 第203期（決算日 2019年2月25日）
第201期（決算日 2018年12月25日） 第204期（決算日 2019年3月25日）

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ
フリーダイヤル ☎0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額
	(分配落)	税 分 配	達 金 騰 落	中 率	期 騰 落 中 率			
	円	円	円	%	ポイント	%	%	百万円
175期(2016年10月25日)	8,189		30	0.7	388.71	0.4	94.1	89,732
176期(2016年11月25日)	8,447		30	3.5	399.29	2.7	91.6	92,606
177期(2016年12月26日)	8,532		30	1.4	408.77	2.4	93.0	93,587
178期(2017年1月25日)	8,410		30	△1.1	401.72	△1.7	91.4	92,217
179期(2017年2月27日)	8,304		30	△0.9	398.96	△0.7	82.5	90,747
180期(2017年3月27日)	8,139		30	△1.6	397.19	△0.4	84.7	88,777
181期(2017年4月25日)	8,169		30	0.7	398.16	0.2	94.3	87,639
182期(2017年5月25日)	8,376		30	2.9	408.51	2.6	92.1	88,938
183期(2017年6月26日)	8,391		30	0.5	409.94	0.4	94.4	88,552
184期(2017年7月25日)	8,469		30	1.3	413.57	0.9	91.2	88,789
185期(2017年8月25日)	8,417		30	△0.3	411.95	△0.4	90.0	87,905
186期(2017年9月25日)	8,605		30	2.6	421.78	2.4	97.0	89,765
187期(2017年10月25日)	8,539		30	△0.4	422.79	0.2	93.7	88,801
188期(2017年11月27日)	8,480		20	△0.5	421.08	△0.4	93.4	88,126
189期(2017年12月25日)	8,512		20	0.6	424.25	0.8	96.1	87,800
190期(2018年1月25日)	8,417		20	△0.9	418.88	△1.3	91.2	86,224
191期(2018年2月26日)	8,091		20	△3.6	407.56	△2.7	95.9	81,758
192期(2018年3月26日)	8,011		20	△0.7	406.51	△0.3	89.8	80,169
193期(2018年4月25日)	8,148		20	2.0	415.38	2.2	93.2	80,301
194期(2018年5月25日)	8,054		20	△0.9	407.80	△1.8	90.1	78,834
195期(2018年6月25日)	8,048		20	0.2	409.90	0.5	91.5	78,135
196期(2018年7月25日)	8,144		20	1.4	414.56	1.1	84.0	78,062
197期(2018年8月27日)	8,125		20	0.0	413.56	△0.2	97.0	76,818
198期(2018年9月25日)	8,164		20	0.7	416.87	0.8	94.1	76,667
199期(2018年10月25日)	7,971		20	△2.1	410.49	△1.5	84.6	74,504
200期(2018年11月26日)	8,024		20	0.9	412.23	0.4	94.5	74,986
201期(2018年12月25日)	7,866		20	△1.7	411.93	△0.1	89.2	73,535
202期(2019年1月25日)	7,854		20	0.1	412.05	0.0	84.4	73,686
203期(2019年2月25日)	7,939		20	1.3	417.33	1.3	91.2	75,128
204期(2019年3月25日)	7,934		20	0.2	419.02	0.4	87.3	74,441

(注) 基準価額および分配金(税引前)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税引前)込み。

(注) FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率=買建比率-売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) (ベンチマーク)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
第199期	(期 首) 2018年9月25日	円 8,164	% —	ポイント 416.87	% —	% 94.1	% —
	9月末	8,161	△0.0	417.96	0.3	93.8	—
	(期 末) 2018年10月25日	7,991	△2.1	410.49	△1.5	84.6	—
第200期	(期 首) 2018年10月25日	7,971	—	410.49	—	84.6	—
	10月末	8,018	0.6	411.26	0.2	90.7	—
	(期 末) 2018年11月26日	8,044	0.9	412.23	0.4	94.5	—
第201期	(期 首) 2018年11月26日	8,024	—	412.23	—	94.5	—
	11月末	8,068	0.5	415.12	0.7	94.1	—
	(期 末) 2018年12月25日	7,886	△1.7	411.93	△0.1	89.2	—
第202期	(期 首) 2018年12月25日	7,866	—	411.93	—	89.2	—
	12月末	7,926	0.8	412.71	0.2	91.2	—
	(期 末) 2019年1月25日	7,874	0.1	412.05	0.0	84.4	—
第203期	(期 首) 2019年1月25日	7,854	—	412.05	—	84.4	—
	1月末	7,874	0.3	413.53	0.4	89.4	—
	(期 末) 2019年2月25日	7,959	1.3	417.33	1.3	91.2	—
第204期	(期 首) 2019年2月25日	7,939	—	417.33	—	91.2	—
	2月末	7,938	△0.0	417.70	0.1	92.9	—
	(期 末) 2019年3月25日	7,954	0.2	419.02	0.4	87.3	—

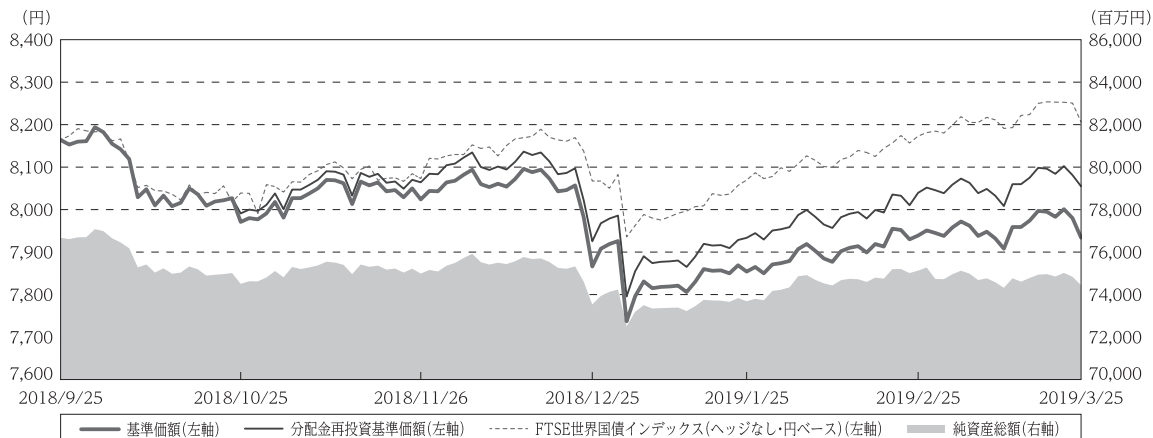
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税引前)込み、騰落率は期首比。

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2018年9月26日～2019年3月25日）



第199期首：8,164円

第204期末：7,934円（既払分配金（税引前）：120円）

騰落率：△ 1.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首（2018年9月25日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・投資国の債券利回りが低下し、価格が上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・ユーロを筆頭に全ての投資通貨が対円で下落したこと。

投資環境

（2018年9月26日～2019年3月25日）

＜投資国の債券市場＞

投資国の債券市場では、米連邦準備制度理事会（FRB）の複数の高官から利上げに前向きな発言が相次いだことや、トルコリラ急落に伴う新興国市場の混乱が沈静化に向かったことなどから、米国債主導で利回りが上昇（価格は下落）してスタートしました。しかしその後は、グローバル経済の減速懸念や世界的な株安を受けて、債券利回りは低下（価格は上昇）に転じました。2019年に入ると、FRBを筆頭に主要先進国の多くの中央銀行が、金融引き締めにも慎重なハト派姿勢に転じたことや、グローバル経済の減速懸念が一段と強まったことから、作成期末にかけて債券利回りの低下基調が鮮明となりました。

＜為替市場＞

為替市場では、米中の貿易摩擦、欧州の政治リスク、株価動向等を睨んで、2018年12月中旬までは、投資通貨が総じて対円で上値の重い動きとなりました。その後、2019年初めにかけては、グローバル経済の減速懸念や世界的な株安を背景にリスク回避の円買いが強まり、投資通貨が対円で急落する場面が見られました。しかし、FRBを筆頭に主要先進国の多くの中央銀行が、金融引き締めにも慎重なハト派姿勢に転じたことを受けて、その後は世界的な株高とともに投資通貨が対円で戻りを試す展開となりました。ただ、作成期末にかけては、グローバル経済の減速懸念が一段と強まる中、投資家のリスク回避の動きが優勢となり、投資通貨が対円で軟調に推移しました。一方、イギリスポンドに関しては、イギリスの欧州連合（EU）離脱を巡る動きを睨んで、一進一退の展開が続きました。この結果、当作成期間においては、ユーロを筆頭に全ての投資通貨が対円で下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2018年9月26日～2019年3月25日）

＜ワールド・ソブリンインカム（愛称 十二単衣）＞

「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

7カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション*を変化させました。デュレーションは、5.23年～7.43年の範囲内での推移となり、作成期末は7.43年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当作成期間においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は81.1%～95.2%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当作成期においては、ベンチマークと比較し総じて、米ドルは低め、ユーロ、オーストラリアドル、カナダドル、イギリスポンドは、高めの投資比率を維持しました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

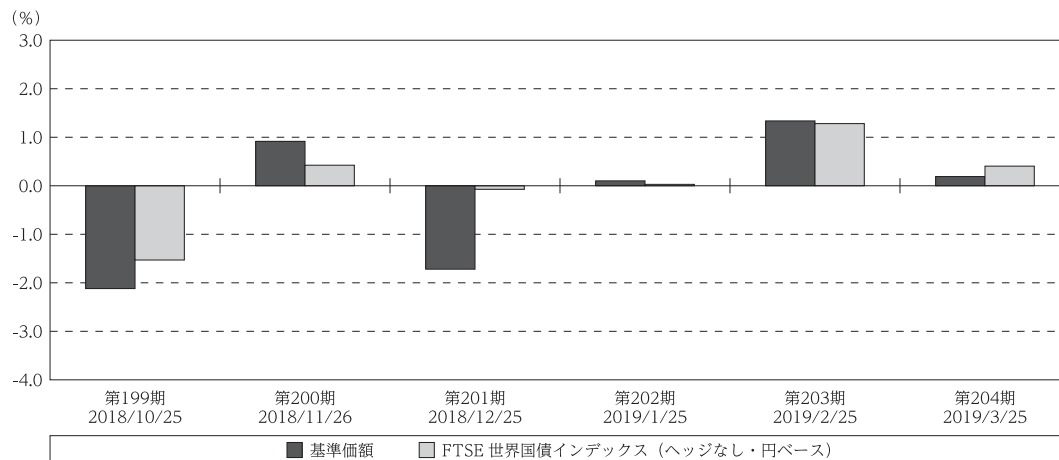
※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きいく程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2018年9月26日～2019年3月25日）

分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を1.9%下回りました。2019年の年初にかけての金利低下局面において、ベンチマークと比較し金利変動リスクを測る尺度であるデュレーションが短かったことが、ベンチマークの騰落率を下回る一因となりました。また、投資通貨に対し円高が進行する中、ベンチマークと比較し外貨の投資比率を総じて高めに維持したこともマイナス要因となりました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

分配金

（2018年9月26日～2019年3月25日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益等の全額としております。

当作成期間におきましては、毎期1万口当たり20円（税引前）、合計120円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第199期	第200期	第201期	第202期	第203期	第204期
	2018年9月26日～ 2018年10月25日	2018年10月26日～ 2018年11月26日	2018年11月27日～ 2018年12月25日	2018年12月26日～ 2019年1月25日	2019年1月26日～ 2019年2月25日	2019年2月26日～ 2019年3月25日
当期分配金 （対基準価額比率）	20 0.250%	20 0.249%	20 0.254%	20 0.254%	20 0.251%	20 0.251%
当期の収益	20	20	20	20	20	17
当期の収益以外	—	—	—	—	—	2
翌期繰越分配対象額	114	126	133	142	155	157

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

投資国の債券市場では、グローバル経済の減速が鮮明となる中、主要中央銀行が金融引き締めにより慎重なハト派姿勢を強めていることから、引き続き利回り低下を試す場面があると見ています。また、グローバル化の進展、技術革新、世界的な流通構造の変化等を背景に、先進国の低インフレ局面が長期化する可能性が高いと予想されることも、債券利回りの上昇を抑制する要因と考えています。為替市場では、海外の主要中央銀行がハト派姿勢を強めていることは、内外金利差縮小に伴う円高要因として働きやすい反面、リスク資産の上昇を通じて円安要因として働きやすいという側面もあります。このため、当面はこの両要因による綱引きから、為替市場は方向感を探る展開になると予想しています。一方、日銀の金融緩和の長期化観測が一段と強まっており、日銀の金融政策正常化に伴う円高リスクは大幅に後退したと考えています。

（運用方針）

<ワールド・ソブリンインカム（愛称 十二単衣）>

主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

（2018年9月26日～2019年3月25日）

項 目	第199期～第204期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a)信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(21)	(0.268)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(21)	(0.268)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.010	(b)その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託支払手数料
合 計	46	0.572	
作成期間中の平均基準価額は、7,997円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

（2018年9月26日～2019年3月25日）

○ 売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第199期～第204期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	558,678	1,070,000	1,443,172	2,790,000

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2018年9月26日～2019年3月25日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2019年3月25日現在）

親投資信託残高

銘	柄	第198期末	第204期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
ワールド・ソブリンインカム	マザーファンド	38,992,189	38,107,695	73,989,901

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2019年3月25日現在）

項	目	第204期末	
		評価額	比率
		千円	%
ワールド・ソブリンインカム	マザーファンド	73,989,901	99.0
コール・ローン等、その他		757,316	1.0
投資信託財産総額		74,747,217	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）ワールド・ソブリンインカム マザーファンドにおいて、作成期間末における外貨建純資産（65,564,229千円）の投資信託財産総額（77,051,773千円）に対する比率は85.1%です。

（注）外貨建資産は、作成期間末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=109.91円、1カナダドル=81.80円、1ユーロ=124.09円、1イギリスポンド=144.98円、1オーストラリアドル=77.73円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第199期末	第200期末	第201期末	第202期末	第203期末	第204期末
	2018年10月25日現在	2018年11月26日現在	2018年12月25日現在	2019年1月25日現在	2019年2月25日現在	2019年3月25日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	74,836,406,181	75,320,783,991	73,886,327,595	74,036,660,822	75,457,462,521	74,747,217,103
コール・ローン等	736,619,145	719,046,470	755,959,846	742,402,565	776,279,018	757,315,705
ワールド・ソブリンインカムマザーファンド(附価額)	74,099,787,036	74,601,737,521	73,130,367,749	73,294,258,257	74,681,183,503	73,989,901,398
(B) 負債	332,048,682	334,004,974	351,326,011	350,612,434	328,770,634	306,068,238
未払収益分配金	186,936,618	186,895,421	186,979,345	187,630,826	189,273,772	187,652,293
未払解約金	74,136,033	72,029,367	96,119,614	91,743,235	67,393,274	52,992,570
未払信託報酬	70,635,227	74,720,884	67,898,965	70,897,422	71,757,245	65,109,673
未払利息	1,473	1,436	1,682	1,329	1,040	779
その他未払費用	339,331	357,866	326,405	339,622	345,303	312,923
(C) 純資産総額(A－B)	74,504,357,499	74,986,779,017	73,535,001,584	73,686,048,388	75,128,691,887	74,441,148,865
元本	93,468,309,309	93,447,710,872	93,489,672,788	93,815,413,471	94,636,886,191	93,826,146,600
次期繰越損益金	△18,963,951,810	△18,460,931,855	△19,954,671,204	△20,129,365,083	△19,508,194,304	△19,384,997,735
(D) 受益権総口数	93,468,309,309口	93,447,710,872口	93,489,672,788口	93,815,413,471口	94,636,886,191口	93,826,146,600口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,971円	8,024円	7,866円	7,854円	7,939円	7,934円

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第199期18,963,951,810円、第200期18,460,931,855円、第201期19,954,671,204円、第202期20,129,365,083円、第203期19,508,194,304円、第204期19,384,997,735円です。

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、第199期0.7971円、第200期0.8024円、第201期0.7866円、第202期0.7854円、第203期0.7939円、第204期0.7934円です。

(注) 当ファンドの第199期首元本額は93,913,144,154円、第199～204期中追加設定元本額は7,202,198,484円、第199～204期中一部解約元本額は7,289,196,038円です。

○損益の状況

項 目	第199期	第200期	第201期	第202期	第203期	第204期
	2018年9月26日～ 2018年10月25日	2018年10月26日～ 2018年11月26日	2018年11月27日～ 2018年12月25日	2018年12月26日～ 2019年1月25日	2019年1月26日～ 2019年2月25日	2019年2月26日～ 2019年3月25日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 18,241	△ 30,380	△ 28,964	△ 29,839	△ 19,194	△ 12,074
受取利息	538	—	725	—	1,340	1,091
支払利息	△ 18,779	△ 30,380	△ 29,689	△ 29,839	△ 20,534	△ 13,165
(B) 有価証券売買損益	△ 1,540,012,973	755,932,781	△ 1,235,894,472	155,125,567	1,052,032,530	205,454,546
売買益	7,943,346	761,950,485	1,268,725	159,281,691	1,058,177,860	208,945,703
売買損	△ 1,547,956,319	△ 6,017,704	△ 1,237,163,197	△ 4,156,124	△ 6,145,330	△ 3,491,157
(C) 信託報酬等	△ 70,975,010	△ 75,079,377	△ 68,225,795	△ 71,237,398	△ 72,103,381	△ 65,422,760
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	△ 1,611,006,224	680,823,024	△ 1,304,149,231	83,858,330	979,909,955	140,019,712
(E) 前期繰越損益金	△ 11,441,637,049	△ 13,104,280,396	△ 12,429,990,412	△ 13,789,808,148	△ 13,733,098,929	△ 12,686,859,803
(F) 追加信託差損益金	△ 5,724,371,919	△ 5,850,579,062	△ 6,033,552,216	△ 6,235,784,439	△ 6,565,731,558	△ 6,650,505,351
(配当等相当額)	(709,255,704)	(748,238,777)	(806,444,445)	(860,552,174)	(947,181,360)	(984,386,472)
(売買損益相当額)	(△ 6,433,627,623)	(△ 6,598,817,839)	(△ 6,839,996,661)	(△ 7,096,336,613)	(△ 7,512,912,918)	(△ 7,634,891,823)
(G) 計(D+E+F)	△ 18,777,015,192	△ 18,274,036,434	△ 19,767,691,859	△ 19,941,734,257	△ 19,318,920,532	△ 19,197,345,442
(H) 収益分配金	△ 186,936,618	△ 186,895,421	△ 186,979,345	△ 187,630,826	△ 189,273,772	△ 187,652,293
次期繰越損益金(G+H)	△ 18,963,951,810	△ 18,460,931,855	△ 19,954,671,204	△ 20,129,365,083	△ 19,508,194,304	△ 19,384,997,735
追加信託差損益金	△ 5,724,371,919	△ 5,850,579,062	△ 6,033,552,216	△ 6,235,784,439	△ 6,565,731,558	△ 6,650,505,351
(配当等相当額)	(710,734,466)	(750,034,890)	(808,987,768)	(862,959,679)	(950,394,514)	(986,237,459)
(売買損益相当額)	(△ 6,435,106,385)	(△ 6,600,613,952)	(△ 6,842,539,984)	(△ 7,098,744,118)	(△ 7,516,126,072)	(△ 7,636,742,810)
分配準備積立金	3,784,671,034	3,820,554,005	3,786,297,154	3,784,248,189	3,799,448,312	3,701,493,577
繰越損益金	△ 17,024,250,925	△ 16,430,906,798	△ 17,707,416,142	△ 17,677,828,833	△ 16,741,911,058	△ 16,435,985,961

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第199期	第200期	第201期	第202期	第203期	第204期
(a) 配当等収益(費用控除後)	206,826,118円	260,629,134円	206,107,545円	220,531,388円	247,321,081円	163,134,884円
(b) 収益調整金中のその他収益調整金	710,734,466円	750,034,890円	808,987,768円	862,959,679円	950,394,514円	986,237,459円
(c) 分配準備積立金中の配当等収益	337,495,645円	353,810,913円	421,570,493円	436,630,818円	464,215,104円	512,167,895円
分配対象収益(a+b+c)	1,255,056,229円	1,364,474,937円	1,436,665,806円	1,520,121,885円	1,661,930,699円	1,661,540,238円
分配対象収益(1万円当たり)	134円	146円	153円	162円	175円	177円
分配金額	186,936,618円	186,895,421円	186,979,345円	187,630,826円	189,273,772円	187,652,293円
分配金額(1万円当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

	第199期	第200期	第201期	第202期	第203期	第204期
1 万円当たり分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本店					

<お知らせ>

該当事項はございません。

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド
第17期 運用状況のご報告
決算日：2019年3月25日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
	騰落	率	(ベンチマーク) 騰落	率			
	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
13期(2015年3月25日)	20,179	15.0	422.02	11.7	96.7	—	119,019
14期(2016年3月25日)	19,201	△ 4.8	411.68	△ 2.5	90.0	—	105,452
15期(2017年3月27日)	18,209	△ 5.2	397.19	△ 3.5	85.2	—	92,361
16期(2018年3月26日)	18,811	3.3	406.51	2.3	90.2	—	83,339
17期(2019年3月25日)	19,416	3.2	419.02	3.1	87.9	—	77,051

(注) 基準価額は1万円当たり。

(注) FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

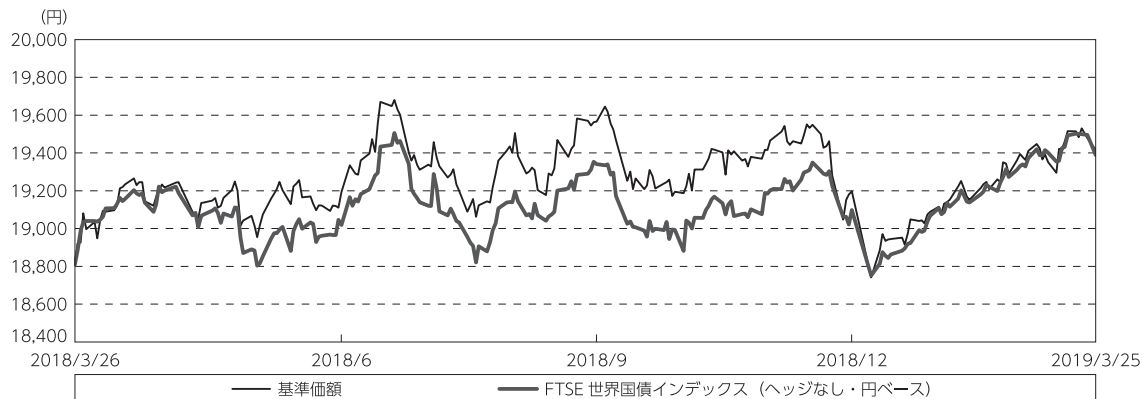
年月日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率
	騰落	率	(ベンチマーク) 騰落	率		
(期首) 2018年3月26日	円	%	ポイント	%	%	%
3月末	18,997	1.0	411.46	1.2	96.9	—
4月末	19,217	2.2	414.93	2.1	93.6	—
5月末	19,017	1.1	406.62	0.0	86.5	—
6月末	19,194	2.0	410.99	1.1	94.1	—
7月末	19,329	2.8	413.18	1.6	84.8	—
8月末	19,383	3.0	413.72	1.8	97.5	—
9月末	19,566	4.0	417.96	2.8	94.4	—
10月末	19,290	2.5	411.26	1.2	91.2	—
11月末	19,478	3.5	415.12	2.1	94.7	—
12月末	19,197	2.1	412.71	1.5	91.7	—
2019年1月末	19,140	1.7	413.53	1.7	89.9	—
2月末	19,363	2.9	417.70	2.8	93.5	—
(期末) 2019年3月25日	19,416	3.2	419.02	3.1	87.9	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年3月27日～2019年3月25日)



(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

(注) ベンチマークは、期首（2018年3月26日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・投資国の債券利回りが低下し、価格が上昇したこと。
- ・米ドルが対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・ユーロ、オーストラリアドル、イギリスポンドが対円で下落したこと。

投資環境

(2018年3月27日～2019年3月25日)

＜投資国の債券市場＞

投資国の債券市場では、米国が金融引き締め姿勢を継続したことを受けて、他の投資国も金融政策正常化の動きが意識され、2018年10月上旬にかけて、米国債を中心に利回りが上昇（価格は下落）する場面が見られました。ただ、その過程においても、米中の貿易摩擦、イタリアの政局不安、イギリスの欧州連合（EU）離脱交渉の難航、トルコリラ急落に伴う新興国市場の混乱等が、債券利回りの低下（価格は上昇）または上昇を抑制する要因として働きました。その後は、グローバル経済の減速懸念や世界的な株安を受けて、債券利回りは低下に転じました。2019年に入ると、米連邦準備制度理事会（FRB）を筆頭に主要先進国の多くの中央銀行が、金融引き締めに慎重なハト派姿勢に転じたことや、グローバル経済の減速懸念が一段と強まったことから、期末にかけて債券利回りの低下基調が鮮明となりました。

＜為替市場＞

為替市場では、米国が金融引き締め姿勢を継続したことを受けて、米ドル高の動きが優勢となり、2018年10月上旬にかけて、米ドルが対円で上昇する展開となりました。また、カナダドルも原油高を好感し、対円で堅調に推移しました。一方、オーストラリアドルや欧州通貨は、米中の貿易摩擦、イタリアの政局不安、イギリスのEU離脱交渉の難航、トルコリラ急落に伴う新興国市場の混乱等を背景に、対円で上値の重い動きが続きました。その後、グローバル経済の減速懸念や世界的な株安を背景にリスク回避の買いが強まり、2019年初めにかけては、投資通貨が対円で急落する場面が見られました。しかし、FRBを筆頭に主要先進国の多くの中央銀行が、金融引き締めに慎重なハト派姿勢に転じたことを受けて、世界的な株高とともに投資通貨が対円で戻りを試す展開となりました。ただ、期末にかけては、グローバル経済の減速懸念が一段と強まる中、投資家のリスク回避の動きが優勢となり、投資通貨が対円で軟調に推移しました。この結果、当期においては、米ドルとカナダドルが対円で上昇する一方、ユーロ、オーストラリアドル、イギリスポンドが対円で下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年3月27日～2019年3月25日)

7カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション[※]を変化させました。デュレーションは、4.95年～7.43年の範囲内での推移となり、期末は7.43年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期間においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は81.1%～95.2%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当期においては、ベンチマークと比較し、米ドルは総じて低め、ユーロは2018年6月以降高めの投資比率を維持しました。また、オーストラリアドル、カナダドル、イギリスポンドに関しては、期を通じて高めの投資比率を維持しました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年3月27日～2019年3月25日)

当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を0.1%上回りました。低調なパフォーマンスとなったイタリア国債への投資を行わなかったことがプラス要因となりました。一方、ベンチマークと比較し、対円で上昇した米ドルの投資比率を総じて低めに維持したことや、対円で下落したユーロやオーストラリアドルの投資比率を高めに維持したことがマイナス要因となりました。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

投資国の債券市場では、グローバル経済の減速が鮮明となる中、主要中央銀行が金融引き締めにより慎重なハト派姿勢を強めていることから、引き続き利回り低下を試す場面があると見ています。また、グローバル化の進展、技術革新、世界的な流通構造の変化等を背景に、先進国の低インフレ局面が長期化する可能性が高いと予想されることも、債券利回りの上昇を抑制する要因と考えています。為替市場では、海外の主要中央銀行がハト派姿勢を強めていることは、内外金利差縮小に伴う円高要因として働きやすい反面、リスク資産の上昇を通じて円安要因として働きやすいという側面もあります。このため、当面はこの両要因による綱引きから、為替市場は方向感を探る展開になると予想しています。一方、日銀の金融緩和の長期化観測が一段と強まっており、日銀の金融政策正常化に伴う円高リスクは大幅に後退したと考えています。

（運用方針）

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年3月27日～2019年3月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 2	% 0.012	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	2	0.012	
期中の平均基準価額は、19,264円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2018年3月27日～2019年3月25日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
国内	国債証券		千円 6,950,495	千円 11,745,975
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 676,543	千米ドル 650,458 (63,000)
	カナダ	国債証券	千カナダドル 289,539	千カナダドル 300,122
国	ユーロ		千ユーロ 98,640	千ユーロ 113,968
	ドイツ	国債証券	198,000	166,415
	フランス	国債証券	千イギリスポンド 91,346	千イギリスポンド 84,671
	イギリス	国債証券	千オーストラリアドル 563,385	千オーストラリアドル 565,294
	オーストラリア	国債証券		

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年3月27日～2019年3月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年3月25日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	2,500,000	3,076,180	4.0	—	2.6	—	1.4
合 計	2,500,000	3,076,180	4.0	—	2.6	—	1.4

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
	%	千円	千円	
国債証券				
第25回利付国債(30年)	2.3	1,500,000	2,029,140	2036/12/20
第48回利付国債(20年)	2.5	1,000,000	1,047,040	2020/12/21
合 計		2,500,000	3,076,180	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	206,000	224,499	24,674,756	32.0	—	21.5	3.1	7.4
カナダ	千カナダドル 47,000	千カナダドル 56,329	4,607,748	6.0	—	2.9	3.1	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	63,000	86,475	10,730,749	13.9	—	8.8	5.1	—
フランス	94,000	117,817	14,619,932	19.0	—	13.7	—	5.3
イギリス	千イギリスポンド 39,000	千イギリスポンド 47,934	6,949,504	9.0	—	2.7	6.3	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 34,000	千オーストラリアドル 39,090	3,038,493	3.9	—	2.8	1.1	—
合 計	—	—	64,621,185	83.9	—	52.4	18.8	12.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
			千米ドル	千米ドル	千円		
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.25	2.25	22,000	21,977	2,415,564	2024/1/31
		US TREASURY N/B 3	3.0	20,000	20,496	2,252,811	2049/2/15
		US TREASURY N/B 3.125	3.125	52,000	55,030	6,048,415	2028/11/15
		US TREASURY N/B 3.125	3.125	38,000	39,882	4,383,451	2048/5/15
		US TREASURY N/B 6.25	6.25	26,000	35,473	3,898,919	2030/5/15
		US TREASURY N/B 8.5	8.5	15,000	15,797	1,736,298	2020/2/15
		US TREASURY N/B 8.75	8.75	33,000	35,841	3,939,294	2020/8/15
小 計						24,674,756	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
	国債証券	CANADA-GOV'T 2	2.0	8,000	8,274	676,832	2028/6/1
		CANADA-GOV'T 3.5	3.5	14,000	18,669	1,527,181	2045/12/1
		CANADA-GOV'T 9.75	9.75	25,000	29,385	2,403,733	2021/6/1
小 計						4,607,748	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 1.25	1.25	7,000	8,218	1,019,823	2048/8/15
		DEUTSCHLAND REP 4.75	4.75	32,000	46,525	5,773,381	2028/7/4
		DEUTSCHLAND REP 6.25	6.25	24,000	31,731	3,937,544	2024/1/4
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 2.75	2.75	24,000	29,409	3,649,467	2027/10/25

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

銘	柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ユーロ		%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 3.25	3.25	18,000	26,341	3,268,657	2045/5/25
		FRANCE O. A. T. 6	6.0	21,000	29,429	3,651,946	2025/10/25
		FRANCE O. A. T. 8.5	8.5	31,000	32,636	4,049,862	2019/10/25
小 計						25,350,682	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	UK TSY GILT 3.5	3.5	10,000	14,266	2,068,299	2045/1/22
		UK TSY GILT 8	8.0	29,000	33,668	4,881,205	2021/6/7
小 計						6,949,504	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 2.75	2.75	14,000	15,130	1,176,082	2028/11/21
		AUSTRALIAN GOVT. 4.5	4.5	10,000	13,070	1,015,931	2033/4/21
		AUSTRALIAN GOVT. 5.75	5.75	10,000	10,890	846,479	2021/5/15
小 計						3,038,493	
合 計						64,621,185	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年3月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	67,697,365	87.9
コール・ローン等、その他	9,354,408	12.1
投資信託財産総額	77,051,773	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (65,564,229千円) の投資信託財産総額 (77,051,773千円) に対する比率は85.1%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル=109.91円、1カナダドル=81.80円、1ユーロ=124.09円、1イギリスポンド=144.98円、1オーストラリアドル=77.73円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年3月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	77,051,773,015
コール・ローン等	8,395,877,631
公社債(評価額)	67,697,365,289
未収利息	666,753,958
前払費用	291,776,137
(B) 負債	43,987
未払利息	8,641
その他未払費用	35,346
(C) 純資産総額(A-B)	77,051,729,028
元本	39,684,154,683
次期繰越損益金	37,367,574,345
(D) 受益権総口数	39,684,154,683口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,416円

- (注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1.9416円です。
 (注) 当ファンドの期首元本額は44,304,542,179円、期中追加設定元本額は597,164,334円、期中一部解約元本額は5,217,551,830円です。
 (注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

ワールド・ソプリインカム (愛称 十二単衣)	38,107,695,405円
Wソプリ毎月分配型(一般投資家私募、適格機関投資家転売制限付)	695,187,878円
私募ソプリ15-01 (適格機関投資家専用)	418,899,583円
私募ソプリ07-04 (適格機関投資家専用)	224,497,848円
ソプリオープン (適格機関投資家専用)	135,288,197円
ワールド・ソプリインカム (1年決算型)	53,664,726円
DCワールド・ソプリインカム	48,921,046円

○損益の状況 (2018年3月27日～2019年3月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,513,324,414
受取利息	3,515,825,596
支払利息	△ 2,501,182
(B) 有価証券売買損益	△ 874,864,322
売買益	3,936,459,956
売買損	△ 4,811,324,278
(C) その他費用等	△ 9,768,833
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,628,691,259
(E) 前期繰越損益金	39,035,325,590
(F) 追加信託差損益金	547,205,666
(G) 解約差損益金	△ 4,843,648,170
(H) 計(D+E+F+G)	37,367,574,345
次期繰越損益金(H)	37,367,574,345

- (注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

該当事項はございません。

〈当ファンドのベンチマークについて〉

FTSE世界国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。